



# 図書館だより

宮城県  
仙台三桜高等学校  
図書委員版 No.7  
2023.10.25

10月13日の金曜日、読書会が行われました。いかがでしたか？本の一部を読んでその結末を考えるとという昨年度とは違ったことをやってみました。クラスメイトの自分とは違った発想に驚きもあったのではないのでしょうか。

本の結末はこの後配付します。また、班ごとに話し合っまとめた紙も11月に昇降口ホールに掲示します。ぜひご覧ください。

## 《書店めぐりで選んだ本の紹介》

今回は二回目の図書委員広報係による本の紹介です。

9月22日に紀伊國屋書店で「書店めぐり」を行いました。

図書館内と昇降口ホールに、ポップを掲示しています。新しい本に出会える機会です。ぜひご覧になってください。

※書店めぐり・・・図書委員が書店で、図書館に入れる本を選ぶ行事。年に2回実施。今回は2回目でした。

『人類がもっと遠い宇宙へ行くためのロケット入門』小泉宏之(著)

現在、民間のロケットの打ち上げが、インプレス  
宇宙ステーションの様子が気軽にYouTubeで  
見ることができたりと、宇宙は

私達に身近なものになってきて  
います。そんな宇宙や  
ロケットのことを、イラスト  
付の分かりやすいこの  
本で学んでみませんか？



『「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる

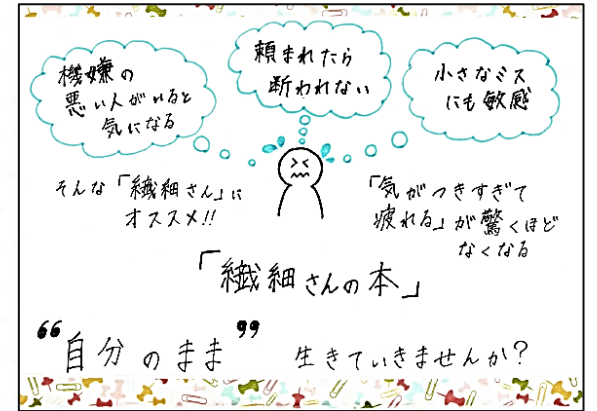
「繊細さん」の本』 武田友紀(著) 飛鳥新社

「機嫌が悪い人がいると気になる」、「頼まれたことは

必ず引き受ける」、「小さなミスにも敏感に反応する」。

そんな「繊細さん」に向けた一冊です！自分を活かす

テクニックを知り、自分のまま生きていきませんか？



『すばらしい新世界』オルダス・ハクスリー(著) 光文社

26世紀ロンドン—ようやく安定した社会を築き上げていた時代に、人間の工場生産と遺伝子の選別とで構成する合理的な

階級制度、快楽薬ソーマの配給...

「家族は卑猥な関係」とされている世界に不満や疑問を持たない人々...

そんな時代に疑問を持つ人が現れ、野蛮人となった彼は、驚くべき真実を目の当たりにする...



『勿忘草をさがして』 真紀 涼介(著) 東京創元社  
 予期せぬトラブルによってサッカー部を辞めた航大は、  
 1年前に親切にしてくれたおばあさんを思い出し、  
 記憶をもとに探している途中  
 で、美しい庭を手入れする  
 不愛想な大学生・拓海と出合  
 う。植物にまつわる事件を通  
 して周囲の人たちを見つめなおす  
 優しさあふれる連作ミステリー。

勿忘草をさがして  
 鬱屈とした日々を送る航大は、親切に  
 してくれたおばあさんを探すうちに、  
 不愛想な大学生拓海と出会う。  
 植物を通して周囲の人間関係を  
 見つめなおす優しさあふれる  
 連作ミステリー。

『ゼロから学ばないでおす知らない2とだすけの日本地理』 地理おた部(著) wave出版  
 みなさんは日本の島の数がいくつか知っていますか？正解は1万4125島です。このように日本地理  
 で知らない2とは多いと思  
 います。そして、この本は日本の  
 地開多も言説明しています。  
 マンガで分かりやすいので  
 地理が苦手な方も女子  
 になるかもしれません。

ゼロから学ばない  
 おす知らない2とだすけの  
 日本地理  
 (著) 地理おた部  
 地理の点数を上げたい人  
 にオススメです。

『一寸先の闇』 澤村 伊智(著) 宝島社  
 不気味な怪談集編集。全ての作品におい  
 てラストは誰を想像していたか、結果  
 となる。この一冊で  
 驚きと恐怖が同時  
 に味わえる、分かり  
 やすくて面白い小説  
 です。

「通夜の帰り」  
 名所 一寸 「君島くん」  
 「はしの木」 先の 「血」  
 帯殺 闇 「空」  
 「青黒き死の仮面」  
 「冷たい時間」

『午後のチャイムが鳴るまでは』 阿津川 辰海(著) 実業之日本社  
 第1話 ~ ち話から成る短い話。それぞれ  
 の団体み。慌ただし忙しい 校  
 則破りなんて学生しかできない！ホサ  
 な事でモドキドキハラハラしちゃうのは  
 初めの "完全犯罪" だから？  
 馬鹿らしいことに青春を捧げろ高校生活  
 はまだまだ続く！！

